

# 平成30年度 自己点検・自己評価(総合)

評価の基準は4段階

4=達成した 3=ほぼ達成した 2=少し足りない部分があった 1=できなかった

項目	内 容	評価平均値
I 保育の 計画性	園の教育理念や教育保育方針を理解している	3.00
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている	3.17
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	3.00
	幼稚園教育要領及び園の教育課程を理解している	2.33
	教育保育要領及び保育過程について、園長や教職員と話し合っている	2.17
	幼稚園教育要領をもとに、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的に想定して教育課程を編成している	2.50
	幼稚園教育要領をふまえ、園の教育理念・教育方針にしたがい指導計画を立てている	2.67
	指導計画は教育要領、教育課程、また幼児の発達状況に応じて作成している	2.83
	保育記録をとり、検討し、次の指導計画に生かしている	2.67
	幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している	3.00
	安全で清潔感のある環境構成をしている	2.67
	幼児の自発的活動を生み出していける遊具や用具、素材などを質・数量を考慮して用意している	2.83
	幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている	2.50
	季節の変化に応じた環境構成をしている	2.83
	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境を構成している	2.50
自分の保育と計画の評価・反省は、行なうようにしている	2.83	
自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に活かせるように行なっている	2.67	
自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している	2.83	

II 保育の 在り方 幼時への 対応	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認している	2.83
	体調が悪そうときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行ないすぐに家庭へ連絡している	3.33
	園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している	3.17
	一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている	3.00
	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	2.83
	幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる	3.00
	幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる	3.00
	幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している	3.00
	幼児の気持ちに共感しながら、幼児の心の安定をはかっている	3.17
	一人ひとりの幼児の思いを把握して適切な援助を行っている	3.17
	幼児からのアイデア・他の教師の意見を聞いて保育内容を見直している	3.17
	幼児と同じ目線に立ち、幼児の思いを把握して寄り添っている	2.83
	幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている	3.33
	幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている	3.00
	幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	3.17
個々の幼児を大切と思える集団となり、また集団(友だち)は大切と思える個が育つよう心がけている	3.17	
学級のことについて、担任以外の教職員と意見交換できるように努めている	2.83	
常に保護者と幼児に関する話ができ、意思疎通ができています	3.17	

III 保育教諭としての 資質や能力・適	幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付ける努力をしている	3.67
	手順や状況をよく考え、効率よく仕事をするように努めている	2.67
	仕事以外のことにも目を向け人間としての研鑽に努めている	2.83
	研修会・研究会には課題を持って進んで参加している	2.67
	不得意分野の研修にも努めている	2.33
	保育技術の習得に止まらず、幼児観や保育観の確立にも努めている	2.50
	園行事等の流れを適切に管理できる	2.50
	幼稚園通信・週報などの情報を的確に管理できる	2.67
	指導要録や健康診断記録簿、クラス日誌などの文書を適切に作成し管理できる	2.83
	服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている	3.00
	あいさつは、明るく親しみをこめてしている	3.33
	感謝の気持ちを忘れず園生活を送っている	3.33
	常に目標を持ち、達成できるように努力している	2.50
	どんな仕事内容でも最善を尽くすようにしている	3.00
	幼児教育に関する情報をたえず収集している	2.50

性	収集した情報を保育に取り入れ活かそうとしている	2.50
IV 関係性	子どもの様子は直接話をしたり、連絡帳などを使って伝え合い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握している	3.00
	クラスや子どもの様子、自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いて耳を傾けている	3.17
	事故や問題が起きた時の、保護者への説明や対応が迅速かつ的確である	2.67
	地域の施設や特徴を保育に組み入れることを意識している	2.67
	卒園後も卒園児や保護者と連絡をとりあい繋がりをもっている	2.50
	保育の向上につながる教職員同士のチームワークができている	2.67
	何でも気軽に園長・主任に報告・連絡・相談ができる	3.17
	園長・主任・同僚のアドバイスを聞き入れようとしている	3.17
	来園者に対しいつも明るく対応している	3.00
	丁寧な言葉で電話対応し、受けた伝言は確実に伝えている	2.83
V 最後に	園児の成長が理解でき、そのことを心から喜ぶことができる	3.33

《 総 評 》

教職員は、日々の保育の中で、園児の体・心（心身の健康）のことについては、注意を怠らず十分に配慮していることがみえます。また、子供たちの成長を喜んでいることも分かる数字です。研修などにも積極的に参加し、専門家としての知識を身に付ける努力もしています。半面、教育・保育要領・教育課程において、教職員間で話し合いをしながら理解を深めていくことについては低い数値となっています。今後、両園とも園長を中心として学びの場を設けていくようにする所存です。